

問 1

【問題】

図 1 の Excel シートからライブラリ「Excel 操作(最終行取得 その3)」を使用して取得される最終行として正しいものを選びなさい。ただし、プロパティ設定は次ページの図 2 のとおり設定されているものとする。

	A	B	C	D	E	F	G
1	No.	顧客ID	商品コード	商品名	注文数	金額	チェック
2	1	111111111	A001	チョコレート	1	150	済
3	2	123456789	B001	クッキー	6	1200	済
4	3	222222222	E001	キャンディー	2	240	済
5	4	333333333	A001	チョコレート	20	3000	済
6	5	111111111	C001	グミ	6	480	済
7	6	333333333	C001	グミ	2	160	済
8	欠番					0	
9	8	123456789	A001	チョコレート	1	150	
10	9	123456789	C001	グミ	1	80	済
11	10	123456789	E001	キャンディー	5	600	済
12	16	123456789	D001	アイスクリーム	3	1350	済
13	17	333333333	B001	クッキー	3	600	済
14	18	111111111	C001	グミ	3	240	
15	19	222222222	D001	アイスクリーム	3	1350	
16	20	222222222	B001	クッキー	1	200	済
17	*欠番は受注後キャンセル						
18					合計金額	¥ 9,800	
19					税込み金額	¥ 10,584	
20							

図 1

(次ページに続く)

プロパティ

▼ ×

スクリプト実行

名前 Excel操作(最終行取得 その3)

コメント

設定 スクリプト 注釈 バージョン情報

■機能概要
 指定した列の最終行を取得します。
 (検索列の2行目以降に最初に空白になったセル - 1の行)

※操作対象のファイルを相対パスで指定する場合、
 開いているシナリオのフォルダが起点となります。
 ※A1形式の列指定のみ対応

■設定項目
 [ファイル名] : 操作対象のファイルパスを指定してください。
 相対パス、絶対パス、またはURLが利用可能です。
 [シート名] : 操作対象のシート名を指定してください。
 空の場合はアクティブなシートが選択されます。
 [検索列] : 最終行を検索する列を指定してください。
 例) A
 [最終行] : 取得した最終行を格納する変数を指定してください。

ファイル名 ファイル名 ▼

シート名 値⇒ ▼

検索列 値⇒ F ▼

最終行 最終行 ▼

更新 元に戻す

図 2

【選択肢】

1. 19
2. 17
3. 16
4. 20

問 2

【問題】

ウィンドウ識別ルールの説明で誤っているものを選びなさい。

【選択肢】

1. シナリオ実行時に対象のウィンドウが最小化されていても正常に動作する。
2. ウィンドウタイトルの識別方式に「正規表現」を設定できる。
3. 識別方式に「指定しない」を設定できる。
4. プロセス名は大文字と小文字を区別せずに比較される。

問 3

【問題】

シナリオを作成する際に考慮する事項として、誤っているものを選びなさい。

【選択肢】

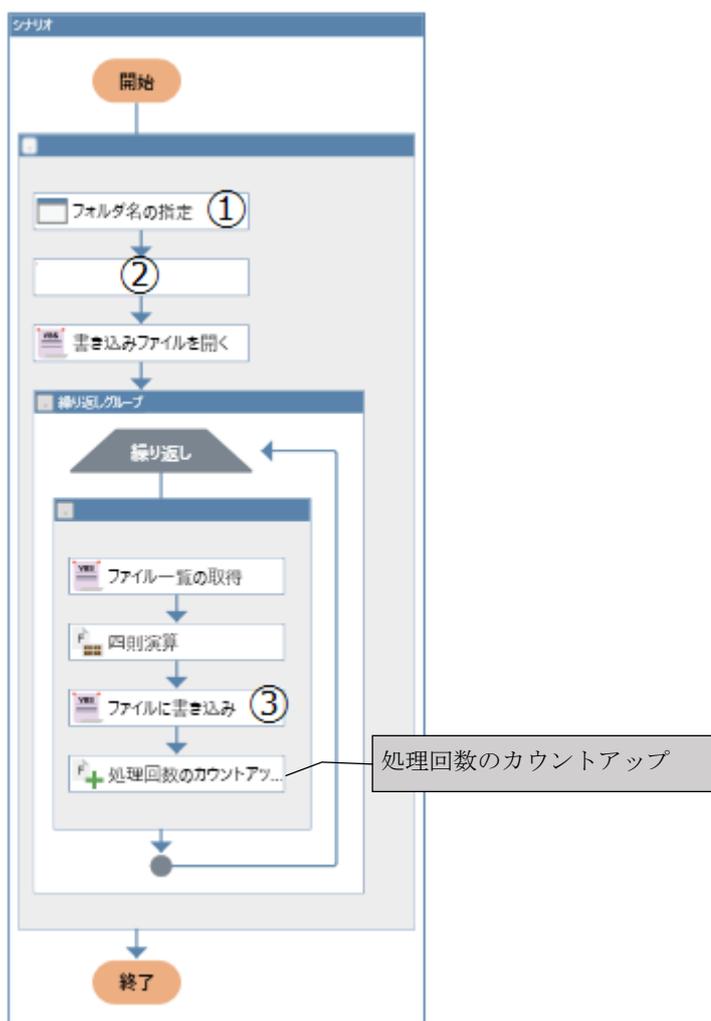
1. グループやサブルーチンを使って複数のノードをまとめておき、シナリオ全体を見やすくする。
2. ノードの名前やコメントを活用することで、各ノードの目的や実施内容を把握しやすくなるよう努める。
3. 変数を作ると作業効率が落ちるため、極力変数を使わないようにする。
4. 画像マッチングでは、取り込んだ画像に機密情報がないかを確認し、必要に応じてマスクする。

問 4

【問題】

①でインプットボックスに入力されたフォルダ配下に存在するファイル／フォルダの一覧を取得し、③でExcelシートにパスの一覧を書き込みたい。

シナリオ中の②のライブラリとして正しいものを選択しなさい。



【選択肢】

1. ファイル検索
2. ファイルリスト作成
3. ファイルリスト作成（拡張子指定）
4. ファイル一覧(ファイル数)取得